

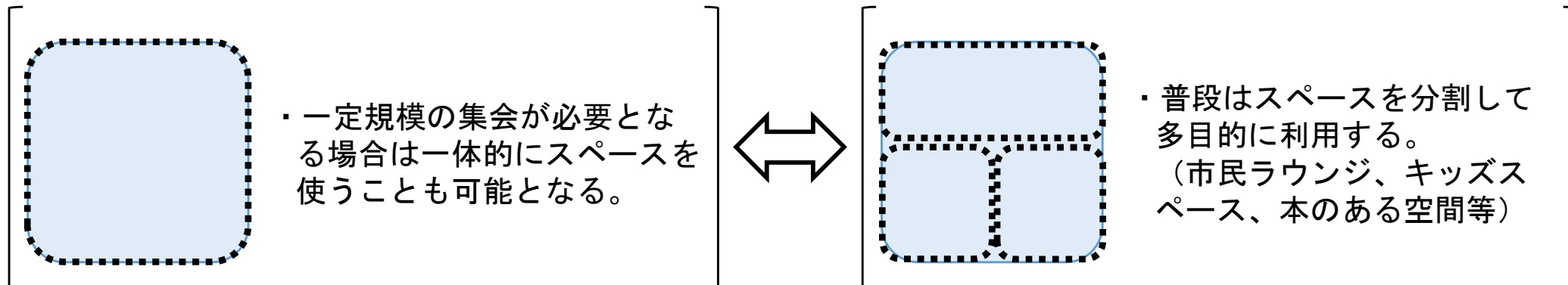
■ 100名規模の会議等にも対応できる施設について

導入公益施設	費用	課題
<p>① 100名規模の会議等にも対応できる施設 (床面積約350㎡) ※但し、ホワイエ(ロビー)は無し。</p> <p>② 附属施設(倉庫、トイレ、通路等) (床面積約250㎡)</p> <p>※その他施設は、駅出張所(移転)、地域センター的な会議室となる。</p>	<p>① イニシャルコスト 保留床購入費 約 4.7億円</p> <p>② ランニングコスト 管理費等 約1200万円/年</p> <p>※費用は現時点での想定であるため、今後変更する可能性がある。</p>	<p>固定的な機能(会議室・バンケットルーム等)の施設 ↓ 利用目的が限定 ↓ 稼働率 低い</p> <p>※稼働率2~3%/年(令和元年度実績)</p>



(導入方針案)

- ・ 固定的な利用 → 多目的な利用
- ・ 利用床面積 → 必要最小限度



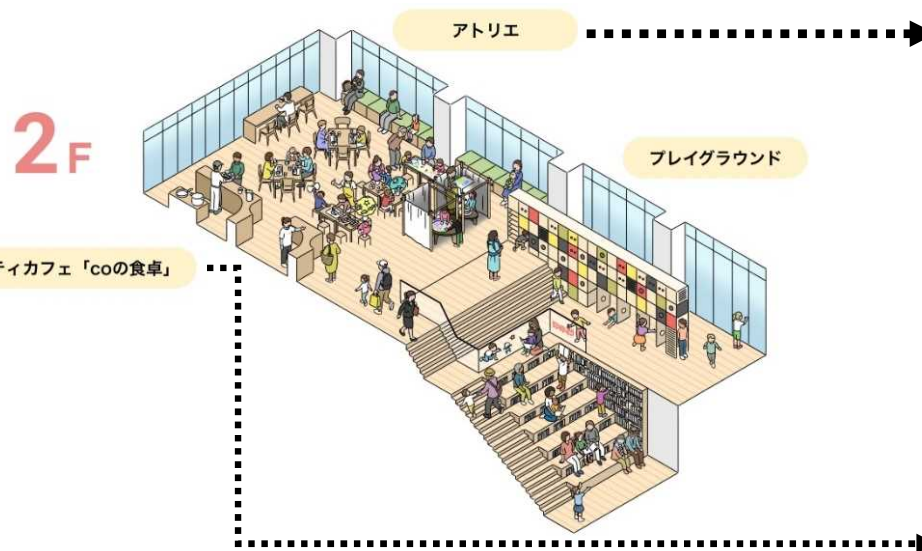
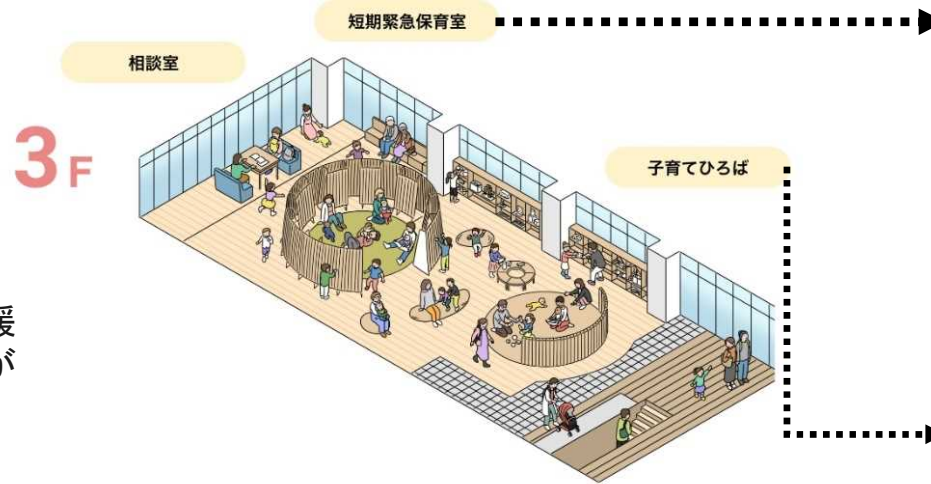
□多目的スペース活用 事例A：屋内広場・カフェ・保育機能の一括運営

- ・妊娠から子育てまで保健師を中心に渋谷区がサポートする子育て支援施設（Coしぶや）。
- ・建物の2・3階にわたって屋内広場（アトリエ、子育てひろば等）とコミュニティカフェ、短期緊急保育等が設けられ、民間の合同企業体（まちの研究所・良品計画等）が一体運営を行う。



渋谷区
子育て
ネウボラ

妊娠・出産・子育て支援
保健師を中心に渋谷区が
サポートを行う仕組み



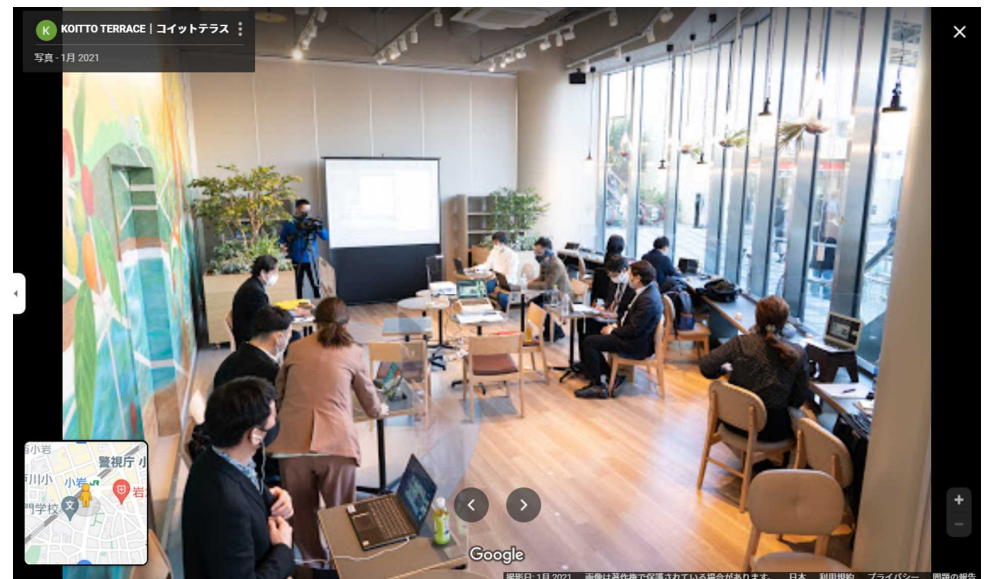
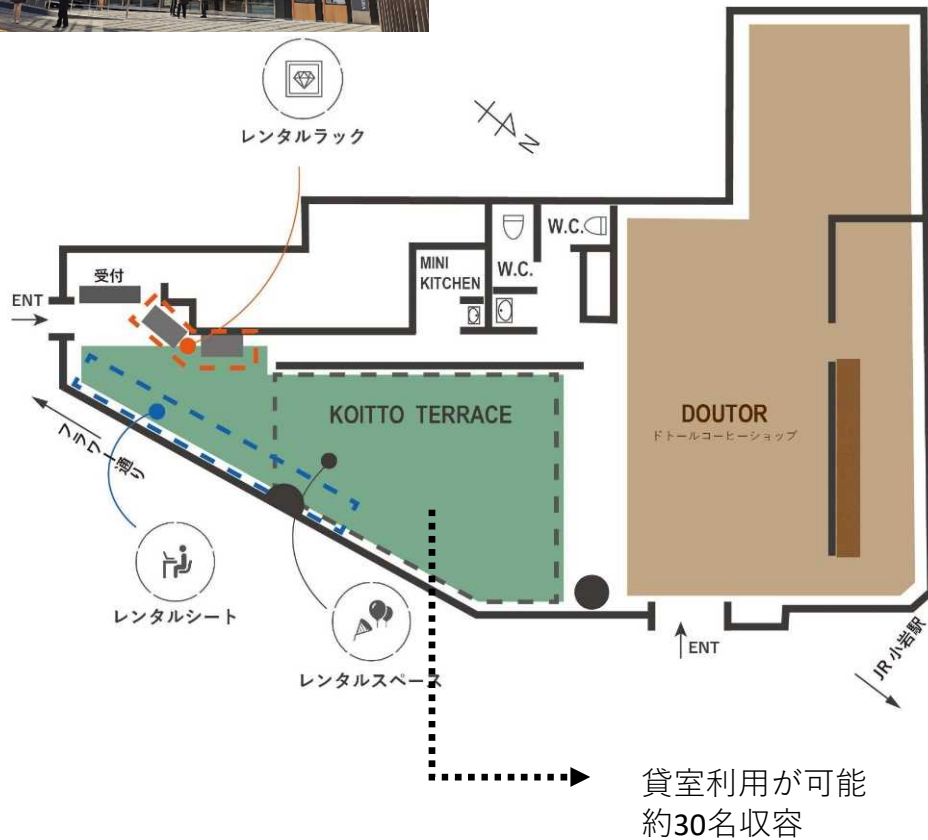
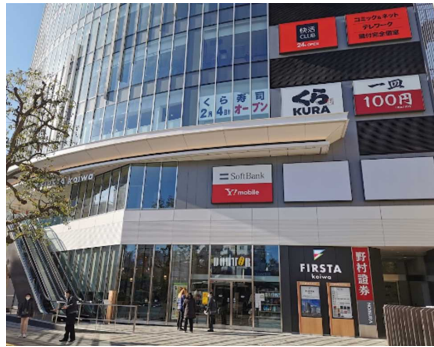
Co
の食卓



食育（わこ産・わこ消）等のコンセプト

□多目的スペース活用 事例B：カフェ＋貸室事業

- ・ JR小岩駅周辺のエリアマネジメントに寄与する活動拠点として、江戸川区が市街地再開発事業（南小岩六丁目地区）で権利変換した公共床をドトールへ賃貸し、常時はカフェとして運営する。
- ・ エリアマネジメント団体の利用、また貸室事業としても利用する際は、可動間仕切り等を使用し貸し切り利用が可能。

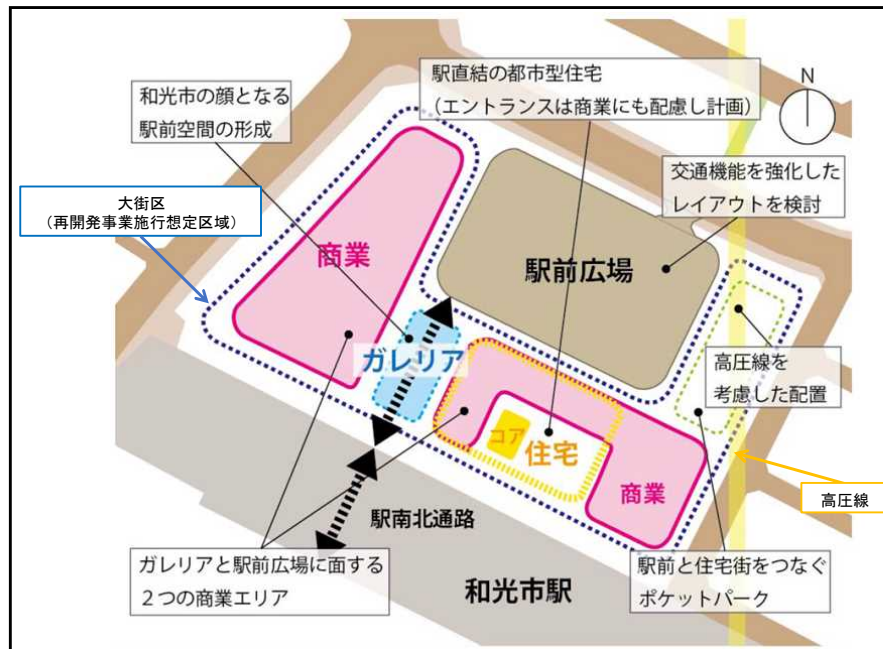


公益施設導入に向けての検討

■ (参考) 区画整理だより第78号抜粋

施設計画の検討状況

駅と駅前広場をつなぐ屋内の広場空間である『ガレリア』を備えた駅直結型の建物とし、用途は、低層階を「商業施設などの賑わい施設」、高層階を「住宅」とすることで検討されています。現在、再開発検討会では、リモート視察会(感染症拡大防止のため現地を撮影した動画を上映)を実施するなどして、「和光市の顔」としてふさわしい導入機能の検討が進められています。また、高度利用化に合わせて、新しい駅前広場を一体的に整備していくことも計画しています。



<施設計画案 平面イメージ>



<2019年検討パートナーから再開発検討会へ提案したイメージ>

※検討段階の案であり、決定したものではありません。協議により変更となる可能性があります。